

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月17日更新

事務事業名		市有林保育事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	2	行政改革の推進			所属課	農政課	担当者名	林田 健太郎
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款6	項2	目1	事業連番11150	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・市有林の保育に関する事務、伐採等の委託。 ・植樹した樹木の成長と伴に、下草刈、枝打ち、間伐等を行う。
【業務の流れ】	伐採委託事務、負担金等の交付（負担金請求書の受理、兼命令により支払）
【主な予算費目】	委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
菊池市龍門、同旭志麓、岳河原、大津町瀬田裏に所有する市有林(単独分、共有分)について、健全な森林の保育を図るため、皆伐、植栽、下草刈、作業道下草刈等を行った。		皆伐・植栽、下草刈・作業道下草刈契約等
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:間伐面積	ha	市有林の間伐と下刈の施行場所変更に伴う委託料の減
→イ:市有林保険掛け面積	ha	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市有林		→ア:市有林面積
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に管理し、木材の生産をする		→ア:市有林からの収入金額
		→イ:
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市有林の適正な管理をすることで良木材生産につながるため成果指標を「市有林からの収入金額」と設定した。目標値については、要間伐、枝打ち等の保育時期を森林施業計画において定めている。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア	ha	3.24	3	3.2	3.47	8.24	4.8	3.2	3.2
	イ	ha	0	0	0	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア	ha	182.66	182.66	182.66	182.66	182.66	182.66	182.66	182.66
	イ									
③ 成果指標	ア	千円	7,474	6,954	7,158	7,791	11,623	0	0	0
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	10,210	9,713	11,906	12,232	6,762	6,762	6,762
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,961	2,889	5,076	2,708	5,529	5,529	5,529
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	13,171	12,602	16,982	14,940	12,291	12,291	12,291
		(A)のうち指定経費	千円	1,800	999	1,725	1,668	463	1,615	1,615
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円							
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	2	2	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	245	95	650	500	650	650	650
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	965	376	2,589	1,971	2,589	2,589	2,589
トータルコスト(A)+(B)			千円	14,136	12,978	19,571	16,911	14,880	14,880	14,880

事務事業名	市有林保育事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☒ 達成した 計画通り進めることが出来た。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 林齢が高いので面積による素材生産量及び販売金がある程度決まっている。	☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 適正に管理され有効活用がなされている。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市有林の維持管理なので、他に手段はない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 菊池森林組合に事業委託をしており、合志市も組合員である。間伐や下草刈は工法的にも特殊であり事業費の削減は難しいが、5年間ぐらいの一括契約に変更すれば、成果を下げずに事業費を削減できるかもしれない。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 市有林の間伐等にかかる契約事務が主なので、最低限の人件費である。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市有林は市民共有の財産といえるので、その維持管理を行なうことは市民全体の利益となり公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 公有財産管理のため適正	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

公有財産の適正管理の観点からも、今後も維持管理をしっかりと行っていきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								